

■赤松満祐 武将。播磨を地盤とする名門として足利幕府を支えたが、將軍義教の強圧に反発して弑逆し、討伐された。

あかまつみつすけ

了俊九州支配1381= 赤松氏繁栄の基礎を創った則村(円心)の曾孫として、義則の子に生まれ、

土岐氏の乱・1390= 9歳 :

南北朝合一・1392=11歳 :

応永の乱・・1399=18歳 :

足利義満没・1408=27歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1413=32歳 : 幕府の侍所として乱の首謀者を捕らえる。

・ ・ ・ ・ ・ 1417=36歳 : 美作・木山寺の寺領を安堵される。

馬借京乱入・1426=45歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1427=46歳 : *父・義則が死去して家督を継ぐも、將軍・義持が播磨を御料国として、別途赤松持貞を代官職に任じたことに怒り、京都の自邸に放火して下国、白旗城に拠って叛する。但馬守・山名持熙が追討に向かううち、持貞の義持侍女との不義が発覚して切腹を命じられたことから結果的に赦され、所領を安堵されて帰洛。

義教籤引將軍 1428=47歳 : 義持が死去して、將軍職を継いだ義教から、侍所別当に任じられ、一揆鎮圧に奔走したが、

播磨国一揆・1429=48歳 : 自領播磨でも国人一揆が起こり、急速下国して鎮圧する。

明貿易回復・1432=51歳 : 侍所別当を罷免され、

世阿弥配流・1434=53歳 : 義教が兵庫津を將軍料所とし、

・ ・ ・ ・ ・ 1435=54歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1437=56歳 : 才色優れる赤松貞村を寵愛する義教が満祐から播磨・美作守護職を召上げて貞村に与えるという噂が流れ、

永享の乱始・1438=57歳 : 義教が満祐の家人3人を殺した上で、再び侍所別当に任じられたが、

結城合戦・・1440=59歳 : *義教側近にあった満祐の弟が不興を買って所領を没収され、貞村に分与したことを嘆息して、再び侍所別当を罷免されるなど、いやがらせが続き、一色氏・土岐氏が義教から追討され、次は満祐の番と世評も立って、耐え切れず、

嘉吉の乱・・1441=60歳 : *子の赤松教康が、関東の乱平定を賀すことを口実に、義教を自邸に饗して、猿樂の宴中に殺害し、自邸を焼き払って、一族で逃亡、諸大名を募って反乱を企てるも失敗し、細川成之・山名持豊ら率いる追討軍に攻略され、一族69人とともに自害した。